

\*\*\*\*\*

ファイナンシャル・プランニングは、より良い結果につながる  
～経済的裕福さ以上のものがあるが、誤解はまだある～

グローバル調査によれば、CFP®認定者に相談する人々は、より良い生活の質、より多くの金銭面の自信とレジリエンス(立ち直る力)を得て、家計状況により満足している

生活者が高インフレ、金利の上昇、住居費の高騰という困難を感じ続けるなか、「ワールド ファイナンシャル・プランニング デー」にリリースした新たなグローバル調査では、ファイナンシャル・プランニングの専門家に相談する人々のほうがより幸せで、CFP®実務家に相談する生活者はさらに良い結果を報告していることがわかりました。

本調査では、FPの顧客の5人に約3人(55%)が経済的裕福さに非常に満足、アドバイスを受けていない生活者では5人に2人(41%)が満足である一方、CFP®認定者の顧客の10人に9人(87%)が経済的に安心して感じ、さらに同程度の割合(86%)が目に見えてより良い状態と感じていることが分かりました。

FPSBの依頼を受け、独立系調査会社のMYMAVINS社が実施した「2023年 FPSB ファイナンシャル・プランニングの価値調査(グローバル生活者調査)」では、アドバイスを受けている・受けていない25歳以上の生活者で、年間60,000米ドル以上の収入、又は35,000ドル以上の投資可能資産又は同等の資産を有する15カ国・地域の15,332人を対象に調査を行いました。

この調査では、ファイナンシャル・プランニングを取り巻く誤解を取り上げ、専門職の将来を分析するとともに、ファイナンシャル・プランニングの価値を検証し、生活の質、金銭面の自信、家計の満足度、経験価値に関するファイナンシャル・プランニングの金銭面・非金銭面の影響を測定しています。

アドバイスを受けていない生活者は、金融ウェルビーイングと安心の向上(37%)、資産のより大きな増加(36%)がファイナンシャル・プランニングを求めるための主要なメリットとして認識しているが、10人に3人の生活者は、高すぎる(30%)、また信頼できる人を見つけるのは困難である(29%)と認識しています。

しかし、CFP®認定者の顧客の10人に9人(88%)近くが、ファイナンシャル・プランニングの価値が費用を上回っていると回答しており、ほぼ全員(98%)が、FPは顧客の利益のために行動していて信用できると報告しました。

FPSB CEOのダンテ・デ・ゴリ氏は、「予期せぬ出来事が世界経済に衝撃的な影響をもたらす可能性があるこの不安定な環境下で、生活者がより良い生活の質を享受しながら、十分な情報に基づいた金融判断

を行い、長期的な目標を達成できるようにするためには、ファイナンシャル・プランニング全般の役割、特にCFP®認定者の役割がさらに重要になってきています」と述べています。

「このグローバル調査の結果は、説得力のある現実を明らかにしています。CFP®認定者が、不確実な時代の中で顧客の金銭面のニーズを支援する大きな価値をもたらし、ファイナンシャル・プランニングにおける卓越したグローバルな象徴としてのCFP®資格の評価を強化しています」と、デ・ゴリ氏は付け加えた。

調査はまた、以下の主要な事項を明らかにしました:

- **ファイナンシャル・プランニングは単なる経済的な裕福さ以上のメリットをもたらす。**

調査の結果、収入が60,000米ドル以下でアドバイスを受けた生活者の44%は、家族の生活や社会生活が向上し(26%)、メンタルヘルスが改善し(46%)、仕事の満足度が上がっています(29%)。同様に、60,000米ドルから80,000米ドルの収入があるアドバイスを受けた生活者の50%が、家族の生活や社会生活が向上し(40%)、メンタルヘルスが改善し(50%)、仕事の満足度が高まった(38%)と回答しています。

- **CFP®認定者の顧客は、FPに対する強い信頼感を示している。**

調査報告書では、CFP®認定者ではないアドバイザーより(82%)、CFP®認定者への相談により多くの生活者が価値を見いだしています(88%)。また、CFP®認定者に相談した顧客の98%が、顧客の最善の利益のためにFPが行動していると信頼しており、CFP®認定者の顧客の92%がFPとの関係を継続する可能性が高い結果となりました。

- **ファイナンシャル・アドバイスは、メンタルヘルス全般を改善し、金銭以上のメリットを引き出す。**

CFP®認定者に相談している生活者の半数以上(51%)が、ファイナンシャル・アドバイスが心の健康と家族の生活にプラスの影響を与えたと報告しています。さらに、CFP®認定者の顧客の73%は、一般的に、あらゆる健康問題にうまく対処できているのに対し、アドバイスを受けていない生活者では64%でした。また、この調査では、CFP®認定者の顧客は、100点満点中、他のFP実務家に相談している生活者(69点)やアドバイスを受けていない生活者(66点)と比較して、生活の質において最高得点(73点)を報告していることも明らかになりました。

### 2023 ファイナンシャル・プランニングの価値調査について

本報告書の記述及び統計は、独立系調査会社MYMAVINS社がFPSBのために実施したグローバル調査結果に基づいています。2023年2月に実施された大規模な定量調査では、25歳以上で、年60,000米ドル以上の収入を得ているか、又は他の地域で35,000米ドル以上の投資可能資産又は同等の資産を保有している15,332人を対象に、オンライン調査が行われました。

サンプルには、アドバイスを受けた生活者とアドバイスを受けていない生活者の両方が含まれています。アドバイスを受けた生活者とは、現在FPに相談している人、必要に応じてファイナンシャル・アドバイスを求める人、そしてこの3年間にファイナンシャル・プランニングのアドバイスを受けたが、現在は受けていない人を含んでいます。一方、アドバイスを受けていない生活者とは、FPからファイナンシャル・プランニングのアドバイスを受けたことがない人や、この3年間でファイナンシャル・アドバイスを受けたことがない人のことをいいます。この調査では、CFP®認定者に相談する生活者も分析しました。CFP®資格を有するFPは、ファイナンシャル・プランニングにおいて厳格な専門的力量的基準と倫理基準にコミットしています。

グローバル調査に参加したFPSBネットワークのFP組織は、オーストラリア、カナダ、台湾、香港、インド、アイルランド、マレーシア、マレーシア、オランダ、ニュージーランド、中国、韓国、シンガポール、南アフリカ、イギリス、アメリカです。

\*\*\*\*\*